

# 西根

太極拳の技術を競う第13回岩手県太極拳選手権大会は11月26、27の両日、県営武道館で開かれ、西根地区の太極拳サークル「むらさきの里」(加藤直子会長、会員19人)が、集団競技部門Aで2位に入賞しました。



チームワークが評価され2位に入賞した「むらさきの里」

## 県太極拳選手権で「むらさきの里」が第2位

国保西根病院のクリスマス会は12月21日、同病院で行われ、一足早いクリスマスを味わいました。

クリスマス会には、入院・通院患者など約50人が参加。患者の早期回復を祈り、みんなに幸せが訪れるようにと毎年この時期に開催されています。

部屋の照明が消され、職員がキャンドルサービスで入場し、クリスマス会の始まりです。幻想的な雰囲気の中、「ホワイトクリスマス」が流れ、参

## 患者の回復祈り、西根病院でクリスマス会

加者の気分を盛り上げました。いよいよ、お待ちかねの余興タイム。職員たちが休憩時間などを利用して練習した、出し物が披露されました。

余興の一番手は「きよしのズンドコ体操」。おなじみの曲に合わせて、体をほぐす体操で、福祉施設などで大流行中です。参加者も一緒に体を動かして楽しみました。この後、マジックショーやハンドベル演奏も披露され、楽しいひと時を過ごしました。



きよしのズンドコ節に合わせて、体をほぐす「きよしのズンドコ体操」は、福祉施設などで大流行中。楽しみながら体操ができると好評です



西根地区で公立の学童保育施設は3カ所目になります

## 放課後も安心。田頭学童保育クラブが開所

放課後の遊びと生活の場として児童たちの健全育成を図ろうと、田頭地区に学童保育クラブが12月1日、西根福祉の家に開設されました。

開所式には、入所児童や関係者など約20人が出席し、学童保育クラブのスタートを祝いました。

同クラブは、保護者が共働きなどのため自宅に不在となる小学1〜3年生が対象。指導員2人が、平日の下校時から午後6時半まで預かります。

# 八幡平市

## 4月1日合併に向け、商工会が契約書に署名

旧3町村の商工会は12月14日、商工会合併契約調印式を八幡平ハイツで行いました。

旧3町村の商工会は、昨年6月3日に3商工会合併協議会(高橋富一会長・松尾村商工会会長)を設立。27人の委員を委嘱して、これまで8回の会議を開催し、合併に向けた話し合いを進めてきました。

合併協定は、合併の時期や



西根、松尾、安代の各商工会会長が合併契約書にサインをしました(写真左から、戸沢正人会長【安代】、宮野光弘会長【西根】、高橋富一会長【松尾】)



契約書に署名し、立会人とともに握手する商工会長

方式などを含む25項目。合併契約書には、4月1日に合併し、名称は「八幡平市商工会」とすることが盛り込まれ、事務所の本所は現在の西根町商工会に、松尾、安代両地区には、現在の位置に支所を置くこととしました。

調印式では、西根の宮野光弘、松尾の高橋富一、安代の戸沢正人各商工会会長が登壇し、合併契約書にサインしました。合併調印の立会人として、田村正彦市長、千葉英寛盛岡地方振興局長、佐藤嘉成岩手県商工会連合会専務理事が契約書に署名。新生商工会のますますの発展を誓い、6人ががっちり握手しました。

## 市内各スキー場で今シーズンの安全を祈願

本格的なスキーシーズンの開幕を前に、市内の各スキー場(八幡平スキー場、安比高原スキー場、田山スキー場、八幡平リゾートパノラマスキー場、下倉スキー場)は、安全祈願祭を行いました。

市営の田山スキー場では、12月8日に安全祈願祭が行われ、田村正彦市長や地元の田山小学校6年生16人など関係者約60人が出席し、神事に続いてテープカットで今シーズンの無事故を祈りました。



今シーズンの安全を願いテープカットを行う関係者

## 交通安全ミニバス大会で西根Aが優勝



豊富な運動量でコート狭しと駆け回る選手たち

スポーツを通して児童たちの健全育成を図ろうと、北岩手地区交通安全ミニバスケットボール大会は12月17日、市総合運動公園体育館で行われました。

大会は、男子の部が2チームで交流試合を、女子の部は6チームが参加してトーナメント戦を実施。市内から西根、松尾のスポーツ少年団が出場しました。女子の部では、西根スポ少Aが決勝に進出し、27対26の1点差で優勝しました。

# 安代



お年寄りから手ほどきを受けながら縄ないを行う生徒

安代町社会福祉協議会（三ヶ田誠一会長）では、しめ飾り作りを12月17日、ふれあいセンターで行いました。安代中、田山中の生徒と安代地区の老人クラブ、シルバー人材センターの会員など約80人が参加。全員で200個のしめ飾りを完成させました。このしめ飾りは、ひとり暮らしなどの高齢者世帯に月に1度届けられる「ふれあい弁当」に添えて、12月21日にプレゼントされました。

## しめ飾り作りで交流を深めながら正月準備

「いい肉」と読む11月29日、短角和牛の生産地である安代地区の小・中学校などで、短角牛を献立に盛り込んだ給食が出されました。安代小学校（種市郁雄校長、児童209人）では給食時間中、5年生36人を対象に勉強会を開催。市役所職員から短角牛について説明を受けた児童たちは、生産者などとテーブルを囲み、自然の恵みに感謝しながら、安代短角牛入りのカレーを味わいました。



自然の恵みに感謝しながら、短角牛カレーをほおばる安代小の児童

## 「いい肉の日」、給食に地元産短角牛カレー



ラストシーンの1コマ。火葬場で出会った2組の家族などが記念撮影を行う後ろには、火葬が執り行われたはずの故人2人の姿が…

安代地区を中心に活動を行う劇団「ふるさと発信株式会社」（村上直樹代表）の第7回公演は12月4日、安代小学校体育館で上演されました。今年の公演は「煙が目にしたみる」（脚本・堤泰之）。桜が満開のとある火葬場の待合室で出会ったばかりの2組の家族が、けんかをしながらも心を通わせていく様子を笑いあり涙ありで描いたもので、家

族のきずなの大切さを訴えた公演に市内外から訪れた約200人の観客は、舞台終了後に惜しめない拍手を送っていました。同劇団は、平成11年に旧安代町の住民有志により設立。年1回のペースで公演を行っています。村上代表は「これからはもっと活動の幅を広げ、市民に演劇の楽しさを伝えていきたい」と話していました。

## 「きずな」をテーマに「ふる株」が第7回公演

# 松尾



収益金を幅広く福祉に役立ててもらおうと毎年開催している、歳末助け合い演芸会。各支部婦人会が趣向を凝らした衣装や踊りで会場を盛り上げました

## 助け合いの心を踊りに込め、婦人会が演芸会

恵まれない人たちに義援金を送ろうと、松尾村婦人団体連絡協議会（川村サト会長）は12月4日、平成17年度歳末助け合い演芸会を松尾地区体育館で行いました。この演芸会は、昭和52年から毎年開催され、今回で28回目。収益金は、幅広く福祉の事業に活用してもらおうと、義援金として川村会長から松尾

村社会福祉協議会の青木正会長に手渡されました。演芸会には、年の瀬を前に踊りや歌で楽しもうと約200人が参加。松尾地区の各支部婦人会などが趣向を凝らし、24演目を披露しました。出演者は、華やかな衣装に身を包み、夜遅くまで練習した踊りなどを熱演。会場から盛んな拍手が送られました。



輪投げ大会で世代間の交流を深めました

## 地域の「輪」を広げ、世代間の交流を楽しむ

地域住民の交流と親睦を深め、青少年の健全育成につなげようと、柏台自治会は12月4日、世代間交流輪投げ大会を行いました。今年で2回目の同交流会には、4歳から90歳までの39人が参加しました。現代社会では、希薄になりがちな地域の交流を深めることで、子どもたちを犯罪などから守ることが目的。交流会では、昔ながらの遊び「輪投げ」を楽しみ、交流の輪も広がりました。

岩手郡塗装業組合は11月21日、松野保育所の外装を塗り直すボランティア活動を行いました。当日は、組合員15人が参加。組合員が門や金網の塀、花壇などの汚れをきれいに落とし、その後、白色のペンキで塗り直しました。4班に分かれて作業を実施すると、みるみる保育所は新築のような輝きに。きれいになった保育所を見た園児からは「すーい」と歓声が上がりました。



ボランティアで保育所の外装をペンキを塗り直す皆さん